



1月 右田中学校だより

防府市立右田中学校

TEL 22-0984

全校生徒数401名

令和2年 生徒会役員及び専門委員長の任命式

1月8日(水)、3学期始業式に続き、令和2年の生徒会役員及び各専門委員長の任命式を行いました。新生徒会長の山本結月さんを含め8名の役員と12名の専門委員長が任命されました。10日(金)の生徒集会では、決意表明や活動方針の説明などがありました。先輩の想いを引き継いで、「日本一の中学校」をめざす右田中学校生徒会の新しいリーダーに、心からの声援を贈りたいと思います。



あいさつする生徒会長と壇上の新役員

生徒会長:山本結月、副会長:秋山裕輝、小池美憂、書記長:原田紗羽

書記:梅田一輝、荒瀬晴斗、会計:秋山祥太郎、田邊美嘉

総務委員長:浅田真樹、石井萌華 生活委員長:隅本惇生、国沢安茄里 学習委員長:大井そら、原田玲奈

広報委員長:小藤祐也、古田心結 厚生委員長:三原秀和、田村愛美 保健委員長:増田大輝、安井歌穂

第22回貞永杯中学校駅伝競走大会で、右田中チームが女子優勝、男子3位

1月12日(日)、防府市スポーツセンター人工芝多目的グラウンドをスタートし、佐波中学校をゴールとするコースで、「第77回防府市内一周駅伝競走大会兼第22回貞永杯中学校駅伝競走大会」が開催され、本校から男女それぞれ2チームが出場しました。コースのうち、右田中学校区を走る区間では、沿道で多くの方に応援して頂きました。



お陰様で、女子は昨年度に続き2連覇となる1位と3位、男子は3位と5位でした。また、女子では4つの区間賞も獲得しました。オリンピックランナーだった貞永信義さんは右田中出身。22回の大会で、本校の優勝は、男子8回、女子3回です。

右田中A(男子) 第3位 / 出場16チーム

右田中B(男子) 第5位 / 出場16チーム

右田中C(女子) 第1位 / 出場9チーム

右田中D(女子) 第3位 / 出場9チーム

1区 防府市スポーツセンター人工芝多目的グラウンド～中関小学校

男子A 古川春陽

男子B 小藤祐也

女子C 浪松藍美 (区間賞)

女子D 竹内ひかり

2区 中関小学校～華西中学校

男子A 柴崎嘉向

男子B 渡邊隼

女子C 尾上友唯 (区間賞)

女子D 原愛実

3区 華西中学校～泥江会館

男子A 富岡一聖

男子B 長藤瑞紀

女子C 北本愛果莉

女子D 富岡一咲

4区 泥江会館～玉祖神社前

男子A 吉岡獅空

男子B 田中風輝

女子C 三家本歩美

女子D 原田涼加

5区 玉祖神社前～JA防府とくち配送センター

男子A 土谷陵雅

男子B 清水敬介

女子C 倉重奈央 (区間賞)

女子D 森本楓加

6区 JA防府とくち配送センター～佐波中学校

男子A 荒瀬晴斗

男子B 石田暖喜

女子C 原せりか (区間賞)

女子D 宮本萌加

1年生新春書き初め大会

1月8日(水)、1年生の学年行事として、新春の書き初め大会を行いました。生徒は、事前に国語の授業で、新年の決意に相応しい四字熟語を選び、その言葉の意味と、選んだ



理由を作文にまとめました。当日は体育館に並んで座り、まず半紙に一文字ずつ練習した後、条幅紙に向かい、真剣なまなざしで一筆一筆に想いを込めて書き込みました。墨の香りも清々しい雰囲気の中、生徒一人一人の今年一年の決意が形になって勢揃いしました。

1年生理科特別授業

1月17日(金)、1年生の全生徒を対象に、理科の特別授業を行いました。講師は、京都大学大学院地球環境学堂・工学研究科教授 工学博士 安部武志 先生です。



先生は、電気化学の研究がご専門で、1回の充電で、大阪から山口まで走れる電気自動車の電池などを開発中とのこと。演題を「電気がこない世界がきたら？」として、電池開発の歴史などが紹介されました。研究に行き詰まったときは、「最初の人はどうやって作りだしたのだろう、と考えることがヒントになる」と話してくださいました。

翌19日(土)は、NPO法人山口科学技術子供フォーラム主催「えきなが講座」として、右田中理科室で、市内外の小中学生40人が参加する教室も開かれ、アルミ箔や銅線など身近にあるものを使って、備長炭電池をつくる実験をしました。

3学期始業式校長式辞

明けましておめでとうございます。新しい年が、生徒の皆さんと右田中、さらにご家族や右田地域にとって、よい年となるよう、心から祈っています。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催される、記念すべきオリンピックイヤーです。今日は、第1回オリンピック アテネ大会 100メートル走のスタートの写真を見ていただいています。この時、居合わせた観衆は、奇妙なものを目の当たりにします。何と、一人の選手が両手を地面についたのです。皆さんも、小学校の徒競走では、立ったままの姿勢でスタートしますね。他の選手は、このスタンディングスタートをしています。ところが、左から2番目の選手は、両手を地面についてスタートしようとしています。



選手の名前は、アメリカ代表でボストン大学学生のトーマス・パークです。パークは、この100メートルと400メートルの2種目で金メダルを獲得しました。今では当たり前と思われている、クラウチングスタートが世界で初めて登場した瞬間です。こうした革新的変化を、今では、かっこよくイノベーションと呼ぶこともあります。イノベーションは、世の中に突如として現れ、最初は風変わりにも見えます。しかし、それが新しい常識へと変わり、世の中の当たり前になっていくのです。パークは、短距離走の金メダリストであるにもかかわらず、このオリンピックで初めて導入されたマラソンの大成功に感激し、その後、もっと長い距離に専門を移します。そして、ついには故郷でボストンマラソンを始める立役者となりました。現役を引退した後は、弁護士になり、時にはスポーツ記者や陸上競技のコーチをしたと言うのですから、様々なことに興味を持って、実際に身を以て実践していったことが伺えます。

私も、このお話を聞いて、失敗を恐れず、挑戦を楽しみとする生き方を学びました。今年の右田中も、挑戦を楽しむ学校にしたいと思います。今年一年の、皆さんの健康と活躍を心からお祈りし、式辞とします。

※右田中学校のホームページにもアクセスしてください。

右田中学校

検索

<http://www.c-able.ne.jp/~hofumigi/>